

ゆうゆう通信

令和5年12月8日発行 第48号

発行 飯田市立病院介護老人保健施設
ゆうゆう 広報委員会
〒395-8503 飯田市上郷黒田341
電話 53-6048 FAX 53-6047

祝 2階Aチーム 敬老会

9月22日に敬老会を行いました。新型コロナウイルスは5類となりましたが、まだまだ猛威を振るう中で感染対策を十分に行い、開催する事ができました。今年度は数え年で米寿を迎えられた方が5名、最高齢の101歳の方1名に事務長より記念の賞状を贈りました。また、お祝いされた利用者様から一言ずつコメントをいただきました。

今年度は全員に記念品としてカラフルなマスクを数枚贈りました。敬老会終了後の1〜2週間の間に各々のタイムイングで贈られたマスクを使用し、いつも使用しているマスクとは違う明るい雰囲気を出すのに一役買っていただきました。今回は余興としてフラーメンコのボランティアの方に来ていただき、踊りを披露して下さいました。普段馴染みのない音楽や踊りでしたが、終了後に利用者様からは「綺麗だった」と笑顔で話をされていました。



また、利用者様との記念撮影にも応じていただき、良い思い出になりました。

職員一同利用者様の健康を祈念するとともに、また来年も変わらずお祝いできるように支援していきたいと気持ちを新たにしました。



3階Aチーム 敬老会

3階たんぽぽ、ひまわりでは9月22日に敬老会を行いました。今年度は米寿を迎えられた方や100歳の方がいらっしやらなかったため、利用者様全員から、ひとことをいただき、記念品としてカラフルなマスクをプレゼントさせていただきました。マスクはすぐ使用される方、大事にしまわれる方と様々でしたが、皆さまには喜んでいただけたようでした。

今回は余興としてカラオケ大会を行いました。全員揃って行いたかったのですが、新型コロナウイルスがまだまだ猛威を振っていたため、各々のフロアーに分かれ午前と午後時間を分けて、感染対策を十分に行いながら開催する事ができました。

マイクを使用して歌う機会が無くなっていたせいか、マイクを向けられると敬遠される方も多かったようです。それでも皆さんで色々な歌を歌い楽しむことができました。採点機能では、平均50〜60点台を出す方が多かったです。中には最高点97点が表示され、みんな驚きと喜びに沸いていました。

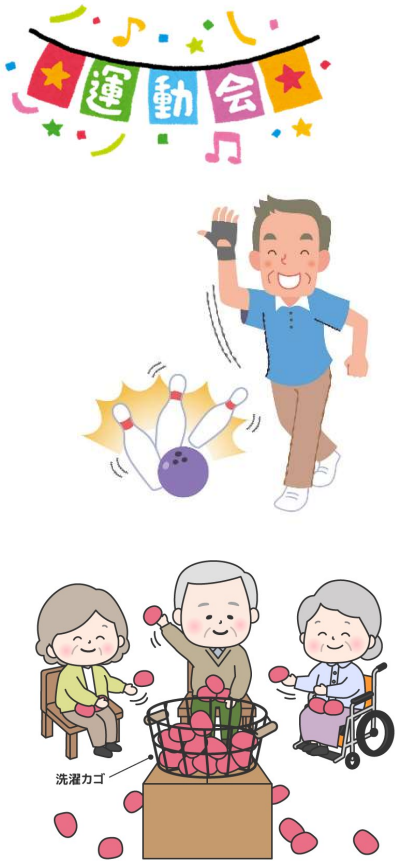
職員一同利用者様の笑顔を糧に、来年も変わらず皆様のお祝いができるようにしっかりと支援していきたいと思えます。





2階Bチーム

10月25日に2階で運動会を行いました。今年度は、チーム毎で運動会を行いました。利用者様の元気の良い選手宣誓から始まり、リハビリ職員による準備体操で体をほぐしました。今年の競技は、玉入れ、選抜でのボーリング投げ、まんじゅう引きの3競技を行いました。玉入れは紙で出来たボールを使用し、1人5個投げました。本気で取り組んでおり、利用者様の目が輝いていました。ボーリングでは、各チーム4人ずつ参加し、1人2回投球しました。2回ストライクを出す方、2回とも当たらない方など様々な利用者様がいましたが、笑いに変わる事ができました。まんじゅう引きでは、1人1個まんじゅうを引き、まんじゅうに付いているテープを組み合わせて、長さを競いました。最終的には、1メートルの差が付き利用者様の「おお〜」と言った声が聞かれました。コロナ化でレク等も少なかった為、久しぶりに大声での応援や運動ができました。また、利用者様の笑顔やいつもと違った一面を見ることができました。



3階Bチーム ミニ運動会

お芋を食べました



10月11日にミニ運動会を行い、午後のお茶に焼き芋を食べました。午前中に皆で、アルミホイルへさつまいもを包み、焼き芋の準備をしました。お昼休み間に電子レンジのオーブンでじっくり焼き芋を焼き上げました。

運動会は、さくら・すみれそれぞれのユニットで行い、各ユニット代表が選手宣誓を行い盛り上げてくれました。2チームに分かれかごに入った風船をうちわであおり、カゴからいくつ出せるか、長短の紐を引き出して結び、どちらのチームが長いかの2つの競技を行いました。運動会を終え焼きあがった焼き芋を皆で食べました。しっかりと焼きあがった焼き芋はとてもおいしいと好評でした。皆さんとても良い笑顔でほおばっていました。体を動かした後のおいしい食べ物格別ですね。



認知症カフェ(ゆうゆうカフェ)のご案内

ゆうゆうでは認知症カフェ(ゆうゆうカフェ)を開催しています。カフェの役割は、①認知症の早期発見、早期治療につなげる ②家族の相談の場、ストレス発散の場 ③社会とのかかわりを持つ居場所作り④認知症への偏見をなくし暮らしやすい地域づくりです。

一人暮らしの認知症の方への支援にもなり、地域には重要な取り組みの一つになっています。ゆうゆうが公的機関として取り組んで行く事は住民の皆様にも心強い取り組みとなりました。しかしここ数年の新型コロナウイルス感染症の拡大で、開催が中止されたり、開催しても利用される方が減っているのが現状です。

今後も感染症の状況をみながら、認知症ご本人やご家族だけでなく、誰にでも開かれた居場所として「ゆうゆうカフェ」を開催してまいります。なお、開催の有無については、ゆうゆうまでお問い合わせください。

【ゆうゆうカフェのご案内】

◎日時：毎月第4日曜日開催

午後1時～午後3時

◎場所：ゆうゆうデイケア

(介護老人保健施設ゆうゆう1階)

◎参加費：100円

◎お茶、お菓子を用意しています。

お茶を飲みながら一緒にお話ししませんか。



ベンチを寄贈していただきました

この度飯田東ロータリークラブの皆様からゆうゆうに「伐採木から作成した木製ベンチ」を3基寄贈したいとお申し出があり、去る令和5年9月11日に贈呈式が執り行われました。

贈呈式には、飯田東クラブロータリークラブ会長の近藤克彦様が出席され、飯田市からは、佐藤健飯田市長、金子源吾ゆうゆう施設長が出席し、近藤会長から佐藤飯田市長に伐採木から作成した木製ベンチの目録が贈呈されました。また、贈呈式にはデイケアの利用者様もご出席いただくことができました。

贈呈いただいた木製ベンチは、松川入財産区で間伐した木材を有効活用するために、いすや木のおもちゃを作成し、毎年飯田東ロータリークラブの皆様が社会福祉施設や児童施設等に寄贈されてきており、今年も飯田市の高齢者福祉施設からゆうゆうへの寄贈が決定したとのことです。贈呈式では、佐藤市長からはお礼の言葉とともに「木製ベンチは、施設



利用の皆様にご利用いただき、木の温かみを感じて、楽しんでいただければと思います。」とあいさつがありました。施設では、寄贈いただいた木製ベンチをデイケアや2階のデッキ等に設置して、利用者の皆様の憩いの場となるよう大切に利用していきたいと思えます。飯田東ロータリークラブの皆様ありがとうございました。



送迎車が新しくなりました

長年にわたり送迎用に使用してきました三菱軽リフト車が古くなったため、更新をしました。新しく購入した車はダイハツ・エブリイ・バンです。車椅子はリフトではなくスロープタイプの乗降方法で、運転手の他、車いす1台と2名が乗車できます。自動ブレーキなどの安全装置も付いており、より安全に皆様の送迎を行うことができます。

これからも交通安全に心掛けて送迎車として活用していきたいと思えます。



デイケアボランティア

10月6日、高陵中学の生徒5名がデイケアに総合学習の一環でボランティアに来てくれました。

イスに座って、紙コップとピンポン玉を使ったゲームを行いました。机の上で弾ませて、コップに入った球の数を競います。片手でも行えるので、殆どの方が参加できました。一人5球で狙いを定めて開始。「惜しい、もうちょっと」「すごい、上手」など歓声が聞こえ、大いに盛り上がりました。

続いて作品づくりです。折り紙を使って鶴や花などを作っていました。難しいところは中学生に教えてもらいながら一緒に行いました。出来上がった作品は自宅へ持ち帰って頂きました。

コロナ禍で触れ合う機会が少なかったですが、久しぶりの交流で楽しいひと時を過ごすことができました。



人事異動

管理栄養士



松岡里奈

10月から管理栄養士として勤務しております。松岡里奈と申します。

利用者様に安心して食を楽しんで頂けるよう、日々頑張っていきたいと思えます。よろしくお願ひします。

よろしく
お願ひます



編集後記

今年「記録的」の連続で、沸騰日本といわれるほどの猛暑でしたが、秋を待ち遠しく感じているうちにあつという間に冬が訪れました。インフルエンザや新型コロナの感染などの感染症対策も気を抜かず、新たな気持ちで新年を迎えられることを願っています。(上)